

## 地理歴史科学習指導案

指導者 広島市立〇〇高等学校  
教 諭 〇 〇 〇 〇

- 1 日時・場所 令和7年5月〇日(〇)〇限目 1年〇組教室
- 2 学年・学級 1年〇組(男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名)
- 3 単元名 国民国家と明治維新

### 4 単元について

#### (1) 生徒観

本学級は意欲的に学習に取り組む生徒が多く、中学校までの既習事項への理解が深い生徒も多い。一方で、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考え、特色や類似点や差異を見出す中で課題を把握し、解決に向けた判断をするといった活動については、生徒による力の差が大きい。

本学級の歴史総合の授業においては、生徒がこれまでに身につけた知識・技能を生かし、社会的見方・考え方を働かせて、課題を把握し解決に向けた道筋を考える活動などにより、概念的知識を獲得するとともに、複雑な事象について解釈し表現する力を養いたい。

#### (2) 教材観

歴史総合では、近現代の歴史の大きな変化を「近代化」、「国際秩序の変化や大衆化」、「グローバル化」と表し、現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的变化の中で形成されてきたのか、それは生徒自身が向き合う現代的な諸課題とどのように関わっているのかなどについて、生徒が課題意識をもって考察できるような構成がなされ、社会の形成者となる生徒が、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を主体的に考察、構想できるように配慮した科目である。

本単元「国民国家と明治維新」は、学習指導要領において、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、立憲体制と国民国家の形成を理解できるようにする、という目標が設定されている。

そして本時の内容の取扱いについては、以下のように示されている。「日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定」については、欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中、天皇を中心とした統一国家構想などが生まれ明治維新に至った過程や、一連の制度改革を推進した明治政府の初期の施策などから、日本で中央集権国家が形成されたことを扱う。また、明治初期の視察や留学、外国人の招聘などによる欧米の制度の導入や、自由民権運動にも示される人権意識の流入や政治参加の拡大を背景に、日本の実情に合わせた立憲体制が国民国家の政治体制として形成されたこと、そしてこの立憲体制の成立が欧米諸国との不平等条約を改正する前提ともなったことを扱う。

以上を踏まえて、「国民国家と明治維新」の単元においては、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること、そして、国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することが求められている。

### (3) 指導観

本時の授業は、「国民国家と明治維新」の単元の中に位置付ける。まず単元を貫く問いとして、「近代化とは何か、そして日本における近代化とは何だったのか」を設定する。その中で本時は、「明治維新は日本の近代化をどの程度達成したのか」という問いをもとに授業を行う。本時で取り扱う内容は大きく以下の2つに分けられる。①「欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中、天皇を中心とした統一国家構想などが生まれ明治維新に至った過程や、一連の制度改革を推進した明治政府の初期の施策などから、日本で中央集権国家が形成されたこと」。②「明治初期の視察や留学、外国人の招聘などによる欧米の制度の導入や、自由民権運動にも示される人権意識の流入や政治参加の拡大を背景に、日本の実情に合わせた立憲体制が国民国家の政治体制として形成されたこと、そしてこの立憲体制の成立が欧米諸国との不平等条約を改正する前提ともなったこと」。

この内容について、既習の「市民革命」、「国民国家」の学習内容と照らし合わせながら、どのような状態を「近代化」というのか、そして明治維新により（欧米諸国と比較したときに）日本の近代化がどの程度達成されたと言えるのか、について考えていきたい。また本時は知識構成型ジグソー法の形式で授業を実践し、資料を読解しその内容を自分の言葉で他者に説明し、問いを意識して他者の説明を聞き、問いに対して多面的・多角的に考察し表現する、という活動として設定する。

なお、②の内容の一部含まれる「国民国家」の概念について、「日本の国民国家形成」に関してさらに2時間の授業を設定する。1時目「日本ではどのように国民が創られたのだろうか。」、2時目「国民統合が進められる中で置き去りにされるものはないだろうか。」を設定する。1時目においては、対外危機の高まりの中、国力増進のためにナショナリズムの涵養が求められ、国民統合のためのさまざまな施策により日本国民が創られていった点について理解し、国家とは、国民とはといった概念理解を深める。2時目においては、国民国家形成の中で、沖縄・アイヌなどの少数者が同質化を強いられていった点について考えさせ、また、現代において国民統合の中で同質化をせまられたり、分化が生じたりした事例等を示し、「統合・分化」の観点から近代化と現代的な諸課題について考える授業としたい。

## 5 単元の目標

- ・ 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。
- ・ 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。

## 6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
・ 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成について資料から読み取り、理解している。	・ 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 各時の問いについて、単元を貫く問いとの関連を見出しながら、課題を主体的に追究しようとしている。

7 指導と評価の計画（全6時間）（○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

時間	学習過程	学習活動および期待される認識	評価の観点			評価規準等
			知	思	態	
1次 (1時間扱)	課題把握	<p>近代化への問いを表現する</p> <p>近代化は私たちの社会や生活に大きな変化をもたらした諸資料をもとに問いをつくり、改善し、優先順位をつける。全体で共有し、問いの焦点の核心にせまるために重要な問いを選択する。</p>		●	○	単元を貫く問いとの関連を見出しながら主体的に問いを表現している。(態)
<p><b>単元 国民国家と明治維新（前半）</b></p> <p><b>【単元を貫く問い】 近代化とは何か、そして日本における近代化とは何だったのか。</b></p>						
2次 (4時間扱)	課題追究	<p><b>市民革命</b></p> <p>「市民革命は社会をどう変えたのか。」</p> <p>アメリカ独立革命やフランス革命の成果として、身分制が否定され、基本的人権などあらゆる人に対する権利が保障された。また、市民革命の主要な担い手となったブルジョワジーに経済的エネルギーを与えた現象が産業革命であり、このような変革は同時並行的に展開し、世界中に波及していった。市民革命の要素、理念は、今日の国際社会の前提となっており、普遍的な意味を持つ。</p>	●	○		市民革命の動向について資料から読み取り、理解している。(知) 市民革命にともなう政治変革の特徴や社会の変容について、多面的に考察し表現している。(思)
		<p><b>国民国家とナショナリズム</b></p> <p>「国民国家はなぜ、どのように形成されたのか。」</p> <p>言語、時間や空間の単位、ライフスタイル、心性などを均質化し、統合により誕生する、共通のアイデンティティをもった人々が「国民」であり、統合された国民により構成される国家が国民国家である。市民革命や産業革命で先行して政治的・経済的に統合されたフランスやイギリスに追いつきたい国の多くは、教育や国家体制の改革により国民国家建設を急ぎ、国民としての団結を創り出した。一方、複数の民族や宗教を広域的に支配していたアジアの帝国では、国民国家建設は困難であった。</p>	●	○		国民国家の形成について、資料から読み取り、理解している。(知) 国民・国民国家が「統合により創られるもの」であることについて、各国の事例をもとに多面的に考察し表現している。(思)
		<p><b>明治維新 新政府による変革と立憲国家の成立 【本時】</b></p> <p>「明治維新は日本の近代化をどの程度達成したのか」</p> <p>対外的な危機に際して、明治維新により分権的な幕藩体制が解体され、廃藩置県、地租改正などの政策により中央集権化が進められた。さらに身分制が撤廃され、学校教育などを通じて国民統合が図られた。また、近代文明国の一員として欧米諸国と肩を並べるため立憲制の確立が目指され、大日本帝国憲法の発布により日本は立憲国家となった。ただし人民の権利については、基本的人権としてではなく、天皇を主権者として臣民の権利が法律の範囲内で認められるという形がとられた。明治維新は日本の近代化を達成したと言えるが、人民の権利においては不十分な点もあった。</p>	●	○		明治維新や大日本帝国憲法の制定を基に、立憲体制と国民国家の形成について資料から読み取り、理解している。(知) 日本における立憲制と国民国家の形成について、他国と比較したり関連付けたりしながら多面的に考察し表現している(思)

		<p><b>明治維新 文明開化と国民統合</b></p> <p>「日本ではどのように国民が創られたのだろうか。」</p> <p>対外的危機感が高まる中、国力増進のためにナショナリズムの涵養が求められた。明治新政府は身分制度の解体によって均質な国民を創出しようとし、近代化をすすめるために義務教育が導入された。学校の国語教育によって社会的・地理的に分裂していた言語の統一が目指され、天皇の神格化により忠君愛国の精神を強め、天皇を国民の精神的な中心にしようとした。このような統合が図られる中で、「日本国民」が創られていった。</p>	●	○	<p>日本の国民統合の動向について、資料から読み取り、理解している。(知)</p> <p>国民・国民国家が「統合により創られるもの」であることについて把握し、多面的に考察し表現している。(思)</p>
3次(1時間扱)	課題解決	<p><b>明治維新 文明開化と国民統合</b></p> <p>「国民統合が進められる中で置き去りにされるものはないだろうか。」</p> <p>国民統合の過程で、文明開化として西洋の文化が「文明化されていて良いもの」という認識とともに拡大し、日本の伝統文化の中には失われていったものもあった。そして日本に組み込まれていった沖縄・アイヌのような少数者は同質化を強いられ、伝統的な生活や文化、言語などが失われていった。そして「誰が国民か」という選別には、「誰が国民ではないか」という排除や格付け(分化)をともなった。この事例を踏まえて、「統合・分化」の観点から現代的な諸課題について考える。</p>			<p>○ 本時の問いについて、単元を貫く問いとの関連を見出しながら、課題を主体的に追究しようとしている。(態)</p>

## 8 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・欧米諸国の進出という国際情勢の中明治維新に至った過程、明治政府の初期の施策から、日本で中央集権国家が形成されたこと、国民統合のための政策が進められたこと、欧米の制度の導入や、自由民権運動にも示される人権意識の流入・拡大を背景に、立憲体制が形成されたことを理解する。
- ・明治維新の経緯や国民統合、立憲体制の形成について、グラフや写真、さまざまな史料から情報を読み取り、まとめる技能を身につけ、他者に説明できる。
- ・近代化とは何か、について、既習の市民革命、国民国家の授業(他国の事例)と本時の授業(日本の事例)を比較する中でその要素をつかみ、「明治維新は日本の近代化をどの程度達成したのか」について、自分の考えを説明できる。

### (2) 評価規準・基準

観 点	評価規準	評価基準	
		具体的な生徒の姿	
思考・判断・表現	授業プリントの記述	A	Bに加えて、市民革命で得た概念を活用し、明治維新における変化について欧米の事例と比較した上で、人々の権利の観点から大日本帝国憲法の特徴について説明している。
		B	「明治維新は日本の近代化をどの程度達成したのか」という問いについて、新政府の施策などから日本で中央集権国家が形成されたこと、国民統合が進められたこと、大日本帝国憲法の制定により立憲体制が形成されたことを踏まえて説明している。

(3) 指導と評価の流れ

	学習活動	留意点（◆C への手立て）	評価等
導入 6分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の問いを確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新について取り扱う。小学校・中学校と学習してきた内容であるが、「近代化」という視点から、改めて明治維新が目指したもの、達成したものについて考えていくことを確認する。</li> </ul>	
	<b>MQ 明治維新は日本の近代化をどの程度達成したのか</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>STEP1：予想を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19世紀後半の日本を見た外国人の所見の資料と大日本帝国憲法の条文抜粋を確認し、問いに対する予想を記述させる</li> </ul>	
展開 34分	<ul style="list-style-type: none"> <li>STEP2：エキスパート活動 生徒を3つのグループに分けそれぞれの資料を読み取る。9分程度個人で資料を読み取り、同じ資料を解釈するための班で3分程度意見を交換し、資料解釈を深める。</li> <li>STEP3：ジグソー活動 違う資料を読解した3名が集まる新しいグループに組み替え、エキスパート活動で読解した内容を説明し合う。 3人がそれぞれ説明し合い、それらの内容を踏まえて本時の問いについてグループで解釈し、問いへの答えを記述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のジグソー活動の際は資料の内容を知っているのは自分ひとりなので、自分の言葉で説明できるように準備させる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆江戸時代の国制はなぜ、どのように変わったのか</li> <li>◆明治政府は日本人々をどのような人々にしていきかけたのか</li> <li>◆日本ではどのように、そしてどのような立憲政治が成立したのか</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料の読み取りがうまくいっていない状況が見受けられれば、適宜補足の説明をする。</li> </ul>	
終末 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>STEP4：全体で交流 3班程度指名し、本時の問いの考察を発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆メモをとりながら発表者の意見を聞かせ、わかりやすい表現や気づきをメモすることで、自分の考察がさらに深められるように促す。</li> </ul>	

<p>・STEP5：自分の考察をまとめる</p> <p>・次回につながる問いを提示する。 江戸時代の日本地図と、明治時代の日本地図を提示する。 「江戸時代の地図において日本に含まれていなかった地域の人たちはどうなったのだろうか。誰が日本人なのだろうか。明治期の日本では、どのように国民統合が行われていくのだろうか。」といった発問をなげかける。</p>	<p>・STEP4 でとったメモをもとに、問いに対して多角的・多面的に説明できるように心がけさせる</p> <div data-bbox="673 315 1241 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(B 評価の解答例)</p> <p>対外的な危機に際して、明治維新により分権的な幕藩体制が解体され、廃藩置県、地租改正などの政策により中央集権化が進められた。さらに身分制が撤廃され、学校教育などを通じて国民統合のための政策も行われた。また大日本帝国憲法が発布され、日本は立憲君主政となったが、人民の権利については、法律の範囲内で認められるという点で不十分な点もあった。</p> </div> <p>◆必要に応じて、発表者の意見から出てきた要素を整理しつつ、授業者が再度提示し、まとめの説明をする。</p>	<p>「明治維新は日本の近代化をどの程度達成したのか」について、新政府の施策などから日本で中央集権国家が形成されたこと、国民統合のための政策がおこなわれたこと、立憲体制が形成されたことを踏まえ、欧米の事例と比較しながら、近代化という概念をつかんだうえで考察し、表現している。 (思)【授業プリント記述】</p>
---	---	---

## 9 参考文献

『現代の歴史総合 みる・読み解く・考える』 (山川出版社)

『問いからはじまる歴史総合』 (とうほう)

『大学の日本史④ 近代』 小風秀雄 (山川出版社)

『民権と憲法 シリーズ日本近現代史②』 牧原憲夫 (岩波新書)